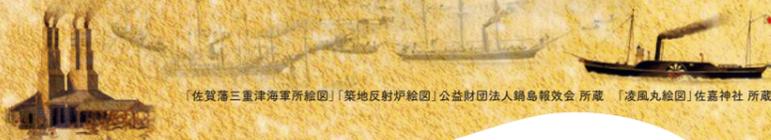




佐賀幕末維新紀行

～ 維新の風に想いを馳せる～



藩政担う人材を育成

弘道館

幕末維新期、佐賀藩が他藩に先駆けて西欧の近代的な科学技術を導入してきた要因の一つに、藩校「弘道館」で育まれた豊富な人材が挙げられます。「弘道館」は1781年に佐賀藩8代藩主・鍋島治茂が、城下の松原小路に創設し、1840年に10代藩主・直正が、佐賀城北堀端に敷地を3倍近くに広くして移転。講堂や武芸場などの施設も拡充しました。

現在、鍋島家の伝来品を収蔵・展示する徴古館(佐賀市松原)の西側に、「弘道館記念碑」と刻まれた石碑が建っています。弘道館の敷地は、ここから県警本部あたりまでの、約5,400坪の広大なものでした。

直正は下級武士を含め、藩士の子弟全員の入学を求め、6・7歳から25歳まで一番多いときの生徒数は、約1,000人規模だったと言われています。今でいう小学6年生ぐらいまでは、午前6時から午後10時まで「大学」や「論語」といった四書をひたすら読み上げ、古賀穀堂や草場佩川ら名だたる儒学者が講師として名を連ねていました。学生たちは寝る間を惜しんで勉強しながら



弘道館記念碑 (佐賀市松原)



弘道館で使用した教科書 (佐賀高等学校蔵)

Episode 昼が乾く暇もないほどの熱い議論?!

江藤 新平は議論に熱中すると、飲みかけのお茶を敷居際にこぼす癖があったのだそう。久米 邦武が「敷居際の畳がいつもジュクジュクにぬれていた」と回顧しています。

※江藤のほか、佐野 常民、島 義勇、副島 種臣、大木 喬任、大隈 重信も弘道館の出身です



藩校「弘道館」があった佐賀県庁前の一帯(佐賀市)

ら、武芸の稽古もしました。直正は毎月、弘道館を訪れ、生徒たちと交流も深めています。

寮の食事は質素なものでした。弘道館で学んだ歴史学者の久米邦武は「内生寮の食事は朝は菜漬けか沢庵、昼はちよつとご馳走で、夜分は二杯の量り飯に塩だけだった」と触れています。

弘道館は、修了試験もありました。1850年には、武士の身分ごとに文武の具体的な達成基準を示した「文武課業法」が制定され、達成できない場合は家禄を減らし、役職にも就けなくなるという厳しさでした。一方、直正は、成績優秀であれば家格にかかわらず登用し、藩政の要職に抜てきしました。

佐賀藩は、このように藩政を担う有能な人材を育てることで、日本初の鉄製大砲の製造や実用蒸気船の建造など、日本の近代化を牽引していったのです。

(協力・佐賀新聞社)

関係した偉人 第11代齋藤 用之助(1859-1933)

沖縄の島尻郡長を務めた第11代齋藤 用之助も弘道館で学んだ一人。1903年、火山噴火に見舞われた硫黄島から全島民を久米島へ集団移住させ、指導力を発揮。沖縄の近代化にも貢献し、退官の日には1万人が別れを惜しんだと言われています。



特別展 肥前さが幕末維新の「志」-北へ南へ、佐賀人が道を拓いた- 島 義勇、鍋島 直彬とともに齋藤 用之助の功績を紹介

とき 11月1日(木)~平成31年1月14日(祝・月)

場所 佐賀城本丸歴史館

リアル弘道館

佐賀藩の藩校「弘道館」の成り立ちや授業風景をデジタル映像や音声ガイドで紹介。

場所 佐賀市柳町3-15 (旧古賀家)

開館時間 9:30~18:00 (入場は17:30まで)

入館料 400円、3館\*共通チケットは1,200円。高校生以下、障がい者手帳等を所持する方は介助者1人も含め無料 ※幕末維新記念館、リアル弘道館、葉隠みらい館

休館日 維新博期間中は無休



(注)明治改暦以前に生まれた人物の年齢については、数え年で表記しています

1868 SAGA 2018 肥前さが幕末維新博覧会 2019年1月14日(祝・月)まで開催中! 【入場券・フリーパス券好評発売中】

読書週間のイベントを開催します ~読書の秋はぜひ図書館へ~

10月27日~11月9日は読書週間です。県立図書館では、「読書推進運動県大会」の開催をはじめ、「本のリサイクルフェア」や「SPレコード鑑賞会」などのイベントを開催します。ぜひ、お越しください。



ここぞしのもり (県立図書館南広場)

<p><b>平成30年度 読書推進運動県大会</b></p> <p>優良読書グループの表彰と活動報告に加え、佐賀藩に関する講演会を行います。</p> <p>10月26日(金) 10:00~12:00</p>	<p><b>本のリサイクルフェア</b></p> <p>佐賀県読書推進運動協議会員等が提供するリサイクル本を、ご希望の方に無料でお譲りします。</p> <p>10月28日(日) 9:00~16:30</p>	<p><b>SPレコード鑑賞会</b></p> <p>今では大変珍しくなっている「SPレコード」の貴重な音色を楽しんでいただく鑑賞会です。</p> <p>11月3日(祝・土) 11:30~12:00</p>
---	---	---

詳しくは 県立図書館 ☎0952(24)2900

県立文化施設 イベントスケジュール

施設名	10月	11月上旬
博物館 美術館 ☎0952(24)3947 (佐賀市)	<p>10/1(月)・9(火)は休館</p> <p>10/14(日)まで</p>	<p>11/18(日)まで</p> <p>SAGAものづくり夢ラボ 10/19(金)~12/2(日)</p>
佐賀城本丸歴史館 ☎0952(41)7550 (佐賀市)	<p>11/1(木)~H31/1/14(祝・月)</p> <p>11/11(日)14:00~15:30</p>	<p>特別展 肥前さが幕末維新の「志」 -北へ南へ、佐賀人が道を拓いた-</p> <p>特別展記念講演会 「札幌をつくり、見守る島義勇」 講師/札幌市公文書館 榎本 洋介</p>
名護屋城博物館 ☎0955(82)4906 (唐津市)	<p>11/11(日)まで</p> <p>11/28(日) 13:30~15:30</p>	<p>開館25周年記念特別企画展 肥前名護屋-幻の巨大都市-</p> <p>開館25周年特別企画展講演会 「巨大城郭都市・名護屋を 読み解く-城・陣・町-」</p>
九州陶磁文化館 ☎0955(43)3681 (有田町)	<p>10/6(土)~11/25(日)</p>	<p>寄贈記念特別企画展 人間国宝 中島宏氏寄贈 古武雄 -ふるさと大地の記憶-</p> <p>11/3(祝・土)~4(日)</p>
宇宙科学館 ☎0954(20)1666 (武雄市)	<p>※要観覧料</p>	<p>コスミックカレッジ 「大型熱気球を飛ばそう」</p> <p>サタデーナイトプラネタリウム ※毎週土曜日 18:00~18:50 ※要プラネタリウム観覧料 定員/190名</p>

印は肥前さが幕末維新博覧会関連の特別・企画展です

休館日 毎週月曜日(祝日・休日のときは翌日/九州陶磁文化館は翌日も開館)、ただし博物館・美術館、佐賀城本丸歴史館は、無休。図書館は、10月31日(水)休館 ※毎月最終水曜日 公文書館は毎週月曜日

10月実施 パブリック・コメント

- ご意見をお寄せください
- [10月1日~10月31日]
    - 佐賀県知事管理量に係るくろまぐろの目的採捕の停止に関する規則(案)
    - 「騒音規制法、振動規制法及び悪臭防止法に基づく規制地域」の改正(案)
    - 「環境基本法に基づく騒音に係る環境基準及び新幹線鉄道騒音に係る環境基準の地域の類型を当てはめる地域」の改正(案)

詳しくは 広報広聴課 ☎0952(25)7351

佐賀県 パブコメ 検索

サガン鳥栖 10月Jリーグホームゲーム日程

場所/ベストアメニティスタジアム

10月6日[土] 19:00~ VS 湘南ベルマーレ

詳しくは 佐賀県プロサッカー振興協会 ☎0942(81)5290

サガン鳥栖 検索

佐賀県の推計人口 平成30年8月1日現在

人口 819,433人(前月比7人増) 男:387,621人 女:431,812人

世帯数 309,957世帯(前月比308世帯増)